

2024年度 展示年間スケジュール

春の 特別展

「谷崎的“夫婦”のカタチ」

会期 3月16日(土)－6月9日(日)

谷崎作品の、美しくも刺激的な個性を備えたヒロインたち。「お相手」の男たちは引き立て役に回りつつ、二人の関係性は奇妙で時に倒錯的である。そして意外にも、そんな彼女と彼とは、「夫婦」である場合が多い。婚姻制度に裏付けられた、公序良俗のお仕着せともいえそうな夫婦。谷崎の女と男とが、一見そぐわない「夫婦」のカタチをとるのには、どんな事情があるのか。谷崎やその周辺の、現実の夫婦関係をも絡めながら、読み解いていく。



1915(大正4)年5月
最初の妻千代との結婚記念

夏の 特設展

「文豪の愛着～谷崎の愛した小物たち～」(仮)

会期 6月15日(土)－9月8日(日)



谷崎遺愛の品

人が身に着け、また、直に肌を接しながら使いこんできたモノたちには、おのずと、その人の体温が伝わっていくものだろう。その人の趣味嗜好や価値観が色濃く映し出され、身体的な特徴さえ物語ってくれる。谷崎が愛用していた多種多様な小物たちから、文豪愛着の＜手触り・肌触り・息づかい＞を感じとる。

★文豪谷崎潤一郎の人生とその作品世界を、初版本や肉筆書簡・遺愛の品々等、多様な資料によって年代順にわかりやすく展示する通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設。

秋の 特別展

「モノクロームの繚乱～色彩の谷崎潤一郎～」(仮)

会期 9月14日(土)－12月8日(日)

昨今、AIの技術革新には目を見張るものがある。その進歩は、多種多様な方面に広がりを見せているが、「モノクロ写真への彩色」も、その一つだろう。コンピューターが、白黒の濃淡・風合いの微妙な差をそれぞれの色合いに変換し、彩色する。館所蔵の数々の写真に、この「色彩の魔法」をかけてみたい。谷崎自身と周辺の人々、文豪ゆかりの風景や作品のモデルたち…。モノクロームの世界に封印されていた色彩が、今解き放たれる。



平安神宮の花見 1940(昭和15)年
この写真が色づく、さてどうなるでしょうか

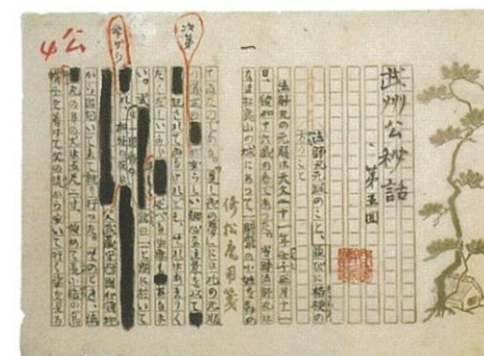
冬の 特設展

「幻想・怪奇・グロテスク～暗黒と流血の谷崎潤一郎～」(仮)

会期 12月14日(土)－2025年3月9日(日)

文豪谷崎潤一郎といえば、ふつうは、女性美を中心に美の世界を描いた、「耽美」の作家としてのイメージが強いのではないだろうか。だが、それだけではないのだ。とくに若い頃、関東大震災以前の谷崎には、幻想や怪奇に彩られた、時としてグロテスクなテイストすら漂う作品も少なくない。そんな谷崎の意外な側面、「暗黒と流血の文豪」としての顔に焦点をあてる。

★文豪谷崎潤一郎の人生とその作品世界を、初版本や肉筆書簡・遺愛の品々等、多様な資料によって年代順にわかりやすく展示する通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設。



「武州公秘話」自筆原稿

2024年度 展示予定 *展示名は、変更する可能性があります。

	3月	4月	5月	6月	展示 入替 期間	6月	7月	8月	9月	展示 入替 期間
展示	春の特別展 「谷崎的“夫婦”のカタチ」					夏の特設展 「文豪の愛着～谷崎の愛した小物たち～」(仮) 通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設				
期 間	3月16日(土)－6月9日(日)					6月15日(土)～9月8日(日)				

	9月	10月	11月	12月	展示 入替 期間	12月	2025年 1月	2月	3月	展示 入替 期間
展示	秋の特別展 「モノクロームの繚乱～色彩の谷崎潤一郎～」(仮)					冬の特設展 「幻想・怪奇・グロテスク～暗黒と流血の谷崎潤一郎～」(仮) 通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設				
期 間	9月14日(土)～12月8日(日)					12月14日(土)～3月9日(日)				



■開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日(祝休日にあたる場合は、その翌平日)
年末年始(12/28～1/4)、展示入替期間

■入館料 特別展 一般600円 大高生400円 中学生以下は無料

◎団体料金(20人以上)は2割引

◎高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方、ならびにその介護の方1人は半額

◎料金は展示によって異なります

芦屋市谷崎潤一郎記念館

Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号

TEL. 0797-23-5852 FAX. 0797-38-3244

e-mail ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp

ホームページ <https://www.tanizakikan.com/>

